

# 令和3年

## 阿達君の日記 6月号

6月になりました。皆様いかがお過ごしですか？山菜シーズン真只中のこの時期ですが、緊急事態宣言延長ということで山菜を毎年楽しみに来る関東圏のお客様がご利用できないという事態となっております。宿側も大きな打撃となります。地元も動きがほとんどなくやまびこ荘はひっそりしております。一層のこと「休館にした方が・・・」と思いますが、保証のない中それもできず、ただただお客様を待っている状態が続いております。切ない。

テレビで緊急事態宣言延長の発表をみて、「そうだよな～、しょうがないよな～」と感じましたが、町の人のお話を見てみると、酒類を売りにしているお店は、「いい加減にしろよ！」と我慢の限界が来ているようだ。気持ちはよくわかります。リスクが高いということでそのような判断になりますが、確かにちゃんと対策しているお店も多いはず、むしろ営業はしても必ず身分証のコピーなどをとり、誰が来たかわかるような営業をして万が一感染者が出たとしても感染ルートが分かれば、感染者を増やさずに抑える営業ができるのでは？と感じます。むしろ感染ルートが分からない状態で増えているのが現状なのでないでしょうか？しっかり「だれが・いつ・どこを利用したのか」わかれば未然に食い止めることもできるのでは？と感じます。苦しむ人を見ると他人ごとではありません。真面目にルールを守ってやっているお店と売上げの為にルールを無視しているお店で平等に行かなくなっているのも現実にあると思います。そんな世の中ではみんなが政府についていこうとは思いません。現場や苦しむ人の声をもっと理解することを望みます。今年に入り何も宣言がなかったのはたったの20日しかないのです。他は何らかの宣言が出て特に関東圏の方はずいぶん我慢していると思います。半年間の我慢って長すぎますよね。メリハリのない我慢は疲れるだけです。その点をよく考え止めるならしっかり止めるべきだと思います。今後ワクチン接種が進み人の動きも戻ってくると感じます。その時にこそ皆さんが喜べる何かを検討すべきです。若者はワクチンを打つ必要ないと思っている人も多いはず、ですが今はそこに頼るしかないのです。ある少年がこのコロナウイルスを予測していたと何かで聞きましたが、その少年の話だと11月に終息すると予言していました。ホントであってほしいです。先に見える我慢なら耐えられるはず。記憶に新しい内閣官房の発言に国民は激怒したと聞きます。「コロナはさぎ波・諸外国に比べれば日本はまだ屁みたいなもの」と非常識発言。思うことと、言っていることの区別ができない大人だなと感じました。気を付けましょう。

やまびこ荘も昨年に引き続き今年も田植え体験・山菜採り体験など中止となっております。楽しみにしていたお客様の気持ちを考えると胸が痛いです。是非、来年に期待しましょう。



懐かしき田植え体験